

# 地域創生に向けた高校魅力化の手引

## ～高校と地域の連携・協働を進めるために～

令和2年（2020年）12月

北海道教育庁学校教育局高校教育課

## < 目 次 >

### 第1部 解説編

第1章 手引の作成について	2
1 手引作成の趣旨	2
2 手引の主な取組期間	2
3 手引の対象	2
4 手引の構成	3
第2章 地域創生に向けた高校の魅力化	4
1 地域創生をめぐる現状と課題	4
(1) 人口減少・少子高齢化	4
(2) 都市部への人口流出	4
(3) 地域を支える人材の確保	5
2 子どもたちの教育環境を取り巻く現状と課題	5
(1) 中学校卒業者数の減少及び高等学校の配置状況	5
(2) 地域社会の教育力の低下	6
(3) 学校が抱える課題の複雑化・困難化等の状況	7
(4) 情報化やグローバル化の進展	7
3 学校と地域の連携・協働の必要性	8
4 地域創生に向けた高校の魅力化の基本的な考え方	9

### 第2部 実践編

第3章 学校と地域の連携・協働の在り方	12
1 目指すべき姿	12
(1) 地域とともにある学校づくり	12
(2) 子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制	12
(3) 学校を核とした地域づくり	13
2 推進体制の構築	13
(1) コミュニティ・スクールの導入	13
(2) 連携組織（コンソーシアム）の整備	14
(3) 地域コーディネーターの配置	14
(4) 地域連携を担当する教職員の位置付け	14
第4章 高校の魅力化に関する具体的な取組	15
1 学校の状況や課題、地域の要望等の把握	15
2 多様な進路を実現するための学びの保障	16
(1) 生徒の興味・関心や多様な進路に応じた教育課程等の編成・実施	16
ア 多様な選択科目を開設するなど生徒の学習ニーズに対応した教育課程の編成	16
イ 習熟度別授業・少人数授業等のきめ細かな指導の充実	16
ウ 地域の人材を活用した専門性の高い特色ある教科・科目等の開設	16
(2) 小・中・高等学校等の学びの接続	16
ア 国語・数学（算数）・英語などの地域における学びのスタンダードの作成	17
イ 小・中・高等学校の教員が連携した学力定着に向けた取組の実施	17
ウ 高大接続の取組の推進	17
(3) 課外における学習機会の確保	17
ア 課外における学習時間の確保	17
イ 地域人材等の活用による高校生を含む地域住民向けの課外講座等の実施	17
(4) 地域と連携した部活動の実施	18
ア 地域人材等を活用した部活動の実施	18

イ	中学校と高等学校が連携した部活動の実施	18
ウ	地域の特性を踏まえ、近隣の高等学校が連携した部活動の実施	18
エ	社会教育の一環としての部活動の実施	18
<b>3</b>	<b>地域を学びの場とした教育活動の推進</b>	<b>18</b>
(1)	地域課題探究型の学習活動の推進	18
ア	地域創生やSDGsの観点からの探究活動の実施	19
イ	都市部における地域創生やSDGsの観点からの探究活動の実施	19
ウ	総合的な探究の時間と小・中学校の総合的な学習の時間等との学びの接続	19
(2)	地域の企業等と連携したキャリア教育の充実	19
ア	地域人材を活用したキャリア教育の推進	19
イ	デュアルシステム等による職業教育の充実	19
(3)	地域の人材等の活用や異年齢集団での活動の推進	20
ア	地域の専門家を「ふるさと先生」として活用する取組	20
イ	地域や小・中学校と連携した教育活動や奉仕活動等の実施	20
(4)	地域の特性や学びの場の確保	20
ア	地域の自然環境や観光資源を活用した学びの構築	20
イ	地域の博物館等の教育施設の活用や地域の教育セミナー等への参加	20
ウ	生徒と地域の方々が学ぶ講座等の実施	20
(5)	道外からの入学者や地域留学の受入れ	20
<b>4</b>	<b>教育環境の整備</b>	<b>21</b>
(1)	ICT環境等の整備	21
(2)	小規模校の教育課程の充実を図る遠隔システムの導入	22
<b>5</b>	<b>取組の情報発信及び検証・改善</b>	<b>22</b>
<b>第5章</b>	<b>取組の推進</b>	<b>23</b>
<b>1</b>	<b>推進の流れ</b>	<b>23</b>
<b>2</b>	<b>推進体制の構築の方向性</b>	<b>23</b>
<b>3</b>	<b>高校の魅力化に関する具体的な取組の方向性</b>	<b>23</b>
(1)	学校の状況や課題、地域の要望等の把握	23
(2)	多様な進路を実現するための学びの保障	24
(3)	地域を学びの場とした教育活動の推進	24
(4)	教育環境の整備	24
(5)	取組の情報発信及び検証・改善	24
	<b>(参考資料)</b>	
(参考1)	まち・ひと・しごと創生基本方針、まち・ひと・しごと創生総合戦略	26
(参考2)	第2期北海道創生総合戦略、北海道総合教育大綱、北海道教育推進計画	28
(参考3)	社会や地域に関する意識の状況(全国)	29
(参考4)	生涯学習に関する住民の意識調査(北海道)	30
(参考5)	コミュニティ・スクールをはじめとした地域とともにある学校づくりの魅力	31
(参考6)	課題把握のためのアンケート調査の例	32
(参考7)	小規模校の特色化・魅力化に向けた課題	34
(参考8)	高校の魅力化を図るための方策例	35
(参考9)	高校の魅力化を目的としたワークショップの実践例	36
(参考10)	コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)	37
(参考11)	地域学校協働活動	40
(参考12)	地域コーディネーター	41
(参考13)	小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業(平成27年度～平成29年度)	44
(参考14)	高等学校OPENプロジェクト(平成30年度～令和2年度)	46
(参考15)	北海道高等学校「高校生対流促進事業」(令和2年度～令和6年度)	49
(参考16)	学校を核とした地域づくり	51
(参考17)	生徒の興味・関心や多様な進路に応じた学校設定科目の開設	52
(参考18)	地域における学びのスタンダードの作成	54
(参考19)	小・中・高等学校の教職員や児童生徒が連携した教育活動	55

(参考 20) アカデミック・インターンシップ	58
(参考 21) 大学と連携した研究活動	59
(参考 22) 北海道の学校開放の状況	60
(参考 23) 地域と連携した部活動	61
(参考 24) 複数校合同部活動	62
(参考 25) 持続可能な開発目標 (SDGs)	63
(参考 26) 地域ビジネス創出事業 (SBP)	64
(参考 27) 地域を学びの場とした教育活動	65
(参考 28) 市町村と連携した高校生対象の地域づくりの取組	66
(参考 29) 地域課題をテーマとした探究的な学び (総合的な探究の時間、特別活動)	71
(参考 30) 学校設定科目「地域学」	75
(参考 31) 12 年間を見通したふるさと教育やキャリア教育	78
(参考 32) キャリア・パスポート	80
(参考 33) デュアルシステム	81
(参考 34) 地域の教育資源や地域人材等を活用した教育活動や奉仕活動等	82
(参考 35) 遠隔授業の 3 類型	91